

BEETHOVEN

Ludwig van Beethoven

Symphonie Nr. 9 in d-moll

第8回佐倉の第九演奏会

《市民の第九》

G.F.F. ヴェルディ

歌劇「ナブッコ」から「思いよ 黄金の翼にのって」

L.v. ベートーヴェン

交響曲第九番 ニ短調 Op.125 合唱付き



指揮：三原明人

佐倉フィルハーモニー管弦楽団

佐倉第九合唱団 (合唱指揮：若林浩)

ソプラノ：松島理恵

メゾ・ソプラノ：猪村雅子

テノール：小見山圭

バリトン：春日保人

2007年 12月23日(日) 午後2時開演

会場：佐倉市民音楽ホール

(京成うすい駅南口徒歩4分)

チケット：2500円 学生1500円(全席指定)

● 8月25日(土) 前売り開始・窓口販売 午前9時から・電話予約 午後1時から・佐倉市民音楽ホール

● 身体障害者手帳、療育手帳又は精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方は学生料金を適用します。

付き添いが必要な場合には、一名様まで学生料金といたします。

● 未就学児の入場はお断りします。託児室あり。公演の2週間前までにご予約ください。

● 環境のため、ご来場にはなるべく公共交通機関をご利用ください。

主催・お問い合わせ：



佐倉市民音楽ホール

TEL 043-461-6221

協力：佐倉市合唱連盟

- **三原明人 (指揮)** 東京藝術大学でヴィオラを専攻、桐朋学園とウィーン国立音楽大学で指揮を学び、小沢征爾、秋山和慶、尾高忠明、カール・エステラ イヒャー、ヴァーツラフ・ノイマン、ゲンナジ・ロジェストヴェンスキー、モーシェ・アツモンなど著名な指揮者に師事する。1989年、第2回キリル・コンドラシン国際青年指揮者コンクールで第2位。同年、アムステルダムでチャイコフスキーの交響曲「悲愴」を指揮しデビューする。1989/1990年のシーズン、ウィーン・フィルのコンサートでレナード・バーンスタインのアシスタントを務め、1996年にもベルリン・フィル来日公演でクラウディオ・アバドのアシスタントを務める。以来、日本、ヨーロッパ、アメリカで指揮活動を行っている。主要な演奏会は、1995年6月にフィンランド・クオピオ管弦楽団のベートーヴェン特別演奏会で「交響曲第2番、第9番」を指揮、1996年10月、再度、同管弦楽団定期演奏会で、武満徹作品集とシベリウス作曲「交響曲第2番」を指揮。さらに1997年、フィンランド独立80周年記念公演で、ベートーヴェン作曲「交響曲第9番」を指揮する。1998年、ブルガリアのソフィア・フィル定期演奏会で、ベートーヴェン、ブラームスなどの交響曲を指揮して大成功を収めた。2003年、阪神大震災被災児救済チャリティーコンサートで、十河易一郎作曲「木漏れ日、そして祈り」の初演を指揮。2004年、京都フィル定期演奏会で、ビニャオ作曲「マリンノ協奏曲」の日本初演など現代音楽のみのプログラムで絶賛された。

「佐倉の第九」には第1回から関わっており、今回で7回目の指揮となる。佐倉市在住。

- **松島理恵 (ソプラノ)** 1992年からイタリア・ボローニャでパオラメモリーニに師事。1994年スペイン・バルセロナでのフランチェスコ・ヴィーニャ国際リリコ・コンクールでファイナリストに残り、マグダ・オリヴェーロに認められる。同年、ブッチーニ作曲「トゥーランドット」リユー役に抜擢。1995年ヴェネツィア・フェニーチェ劇場におけるメンデルスゾーン作曲「真夏の夜の夢」でデビュー。1996年ティントレット没後200年記念公演(フェニーチェ劇場)で、ハッセ作曲バロック・オペラ「ピラモとディズベ」の主役ピラモを務める。フェニーチェ劇場では、1998年にもブッチーニ作曲「修道女アンジェリカ」の第1コンヴェルサを演じる。翌1999年、ジャコモ・ブッチーニ・コンクールで特別奨励賞を受賞。2001年、ヴィヴァルディ緑のピエタ教会でマーリーノ・パラテッロ作曲の現代音楽「海馬の夢」世界初演に出演。2002年には、若手音楽家シリーズにおいてイタリア RAI 放送CD賞を受賞する。2003年、ボローニャ歌劇場で、ドニゼッティ作曲「ランメルモールのルチア」のルチア役で出演。2005年に名古屋電気文化会館で、「海馬の夢」と水野みか子作曲「Per Acque Chiare」の日本初演においてソロを務める。現在もヴェネツィアに住み、オペラ作品、イタリア歌曲以外にロシア歌曲、フランス歌曲にも力を入れ、イタリア各地で演奏活動を行っている。2002年、2003年に佐倉市民音楽ホールでリサイタルを開催。佐倉市中志津出身。

- **猪村雅子 (メゾ・ソプラノ)** 東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。二期会オペラスタジオ、国府第女子学院講師を経て、アメリカに渡り、サンフォード・シルヴァンに師事する。国内においては、青木美穂子、戸田敏子、高橋大海の各氏に師事。これまでに、数多くのオペラ、コンサートで活躍しているが、主なものでは、栗山昌良演出によるモーツァルト作曲オペラ「魔笛」で童子3、青島広志作曲オペラ「黄金の国」で「天の声」、ひろしまオペラ・アンサンブル委嘱による尾上和彦作曲オペラ「ヤカモチ」で「堅香子の精」に出演している。コンサートでは、パッサ作曲「マタイ受難曲」、ベートーヴェン作曲「第九交響曲」、モーツァルト作曲「レクイエム」、「ミサ・プレビス」など多くの作品でアルトソロを務めている。また多くのサロン・コンサートなどにも出演している。2004年から2006年まで、千葉県文化振興財団主催のARIA&トークコンサートに出演する他、佐倉市内の小中学校での社会人講師を務めた。また、これまでに多くの合唱団で発声の指導に当たっており、現在北四街道合唱団でヴォイストレーナーを務める他、二期会のメンバーとともに研究会を発足させ活動している。二期会会員。佐倉市在住。

- **小見山圭 (テノール)** 東京音楽大学音楽学部声楽科卒業。在学中、篠崎義昭、成田勝美の各氏に師事。1999年から帆足琢也氏に師事し、声楽の勉強を続ける傍ら、ボランティアによる演奏会に出演する。2001年にカスケード・ホール、翌年、ゆめりあホールにてリサイタルを開く。その後、モーツァルト作曲「フィガロの結婚」バジリオ役、ブッチーニ作曲「ラ・ボエーム」パルペニョール役などオペラにも出演する。2005年から2006年夏までイタリア・フィレンツェに留学。L.ポーリ、神谷その子の各氏に師事。教会でのコンサート、ヴェストでの講習会の修了公演に出演する。帰国後、第7回佐倉の第九演奏会に合唱団員として友情出演。現在、演奏活動に向けて一層の研鑽に励んでいる。佐倉市在住。

- **春日保人 (バリトン)** 東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。同大学院音楽科バロック声楽専攻修了。1998年から2004年までイタリア・トリノに留学。留学中にレッジョ・エミリアのポリフォニー音楽祭に招聘される。また聖アゴスティノ教会で中世からバロック初期の作品によるリサイタルを開催し好評を博す。

国内での最近の演奏活動は、ヘンデル作曲オペラ「リナルド」日本初演でアルガンテ役、「アグリッピーナ」クラウディオ役で出演。東京室内歌劇場主催のヘンデル作曲「アルチーナ」メリッソ役、またフィリドール作曲の郷土喜劇「太ったカトスの結婚」世界初演でタイトロール役を務め、ユニークでコケティッシュな演奏は多くの人々の心に刻み込まれた。邦人作品では、高時黎作曲の交響曲「海路東征」のソロ、安藤由布樹作曲「灯は永遠に」の青年遊侠役に出演。

2001年からアントロネッロのヴォーカルとして活躍し、2006/2007年「目白バロック音楽祭」に出演。著名なニコラウ・デ・フィゲイレイド氏との共演を果たす他、東京国立博物館のダ・ヴィンチ展開催に際し、NHK-BSハイビジョン放送にて「受精卵告知」の前で、ダ・ヴィンチ作曲の歌曲などを演奏する。中世・ルネサンス、バロック、古典派から現代曲までのレパートリーで活躍中。佐倉では、ヤマハ白井店でのレクチャーコンサート、CATC296ホールでのモーツァルト記念演奏会、佐倉市民音楽ホールでの新保由紀子リサイタルに賛助出演などを行っている。日本ヘンデル協会会員。佐倉市在住。

「佐倉の第九」演奏会では、第1回からペーレンライター社版の楽譜を使用しております。第8回の演奏会にあたり、同社の「第九」合唱楽譜の表紙を、チラシのデザインの一部に借用させていただいております。